

# 恋する川柳物語かわら版



其の二十八 第二十七回「恋する川柳」―【夏】あなたと

鮎む川柳編―の応募作品集です。恋する気持ちを詠む川柳

「恋する川柳」夏編では、『鮎(あゆ)』という言葉を句に詠

み込むというお約束でしたね。

いやはや、今年の夏も尋常でない暑さでしたね。「こんな異常気象は今までにはなかったぞ」と思いつつ、ふと昨年の夏の川柳物語かわら版を開いてみると…なんてことはない。去年もやっぱり「異常」だの「暑過ぎる」だの、言ってることは大して変わりありませんでした。ガックリ。

でも今年は四万十市で国内最高気温出ました――!!!  
41℃の世界をどなたか体験されていたら、ぜひとも感想をお聞きしたいものです。それでは、四万十と同じ鮎の町河原より、犠牲になってしまった鮎と関係者の方々に、心より御見舞いを申し上げますとともに、生き延びている鮎たちにエールを送りながら残りの酷暑を乗り切り切りたいと思います。みなさまもどうぞご自愛くださいね。

ってなことで、ほな、今日もぼちぼち見てつかあさいな。

## 【応募作品一覧】

◆かわはらの 水にたわむる 鮎いとし

◆鮎はねて 河原の里 夏来たる(京都府)

◆鮎釣りに 絡んだ恋は とけないわ

◆恋女房 共にあゆんだ 我慢力(鳥取県)

◆「あゆ」という姪あり 子連れバツイチ 跳んでます

◆道しるべなき道を 手さぐりで 歩んでる

(P・Nこうちゃん)

◆体育祭 行進曲が 今もキュン♥(P・N夕樹)

◆帰り道 デートの歩み 遅くなり(P・N小星)

◆四季の風 棚田と蛍と 歩む里

◆ありがとう 私と歩む 影がある(岡山県)

◆この道を いけば逢えそう 恋堂

◆初堂 おかしの淡い 恋でした(岡山県)

◆釣知らん 鮎の講釈 塩加減

◆娘への愛 今日父の日 ズボン履く(兵庫県)

◆気になる娘 夏合宿で 近くなる(P・Nとんとん)

◆夕顔が 咲くまで 待ってくれないか

◆渚から 女の叫び声がする(鳥取市)

◆夏の恋 線光花火 ほどの恋

(P・N岩美のおぼっちゃま)

◆釣り立ての 鮎の塩焼 舌つづみ

◆夏ですな 釣り人達ちが 鮎をつる(鳥取市)

◆鮎跳ねて 妻も飛び跳ね 我一人

◆浴衣着る 娘の姿 若き妻(P・N仁)

◆夏の鮎 川のダイヤに ふさわしい

◆夕涼み 川面にはねる 鮎花火(大阪府)

◆初恋は すずろに汗の 落ゆ(あゆ)すなり

◆天狭き 峽歩む日の 初デート(P・N茶々丸)

◆薄衣の 君の裳ぬれし 鮎の川

◆鮎の瀬に 二人で立ちし 夏休み(P・Nかぐや姫の帝)

◆鮎逃げた 清流恋し 深夜ショー(P・N暮色の天使)

◆友釣りの 鮎にならって 恋成就(P・N春爺)

◆爽やかな 鮎の香りの 君に恋(P・N琴音翼)



◆ はにかんだ まなざし青葉に つつまれて  
(P・N いずみ)

◆ ボート漕ぐ 君にハートを 持ってかれ(P・N 矢車草)

◆ カップルで 鮎も上流まで デート(P・N 奴だこ)

◆ うちの孫 浜崎あゆみ 似ています  
(P・N 竹子デラックス)

◆ 歩み寄る 音を聞きつけ 背を伸ばす

◆ この道を 君とあゆまず いられない(P・N おこう)

◆ ゲットして あゆ食べ君には 食べられる

◆ 鮎焼いて 二人の仲を 魚占い(P・N よったんぼうや)

◆ お局が 合コン仕切る 鵜飼漁(P・N ばいなりい)

◆ 鮎という 名の娘に惚れた 青春記

◆ 若鮎を 連想させる 阿修羅像(P・N 清少納言)

◆ 清流の 鮎のごとくに 君いちず

◆ かわはらの 夏に出逢った 恋ひとつ(P・N みちんこ)

◆ 食べさせて 鮎(愛)の笹焼き(囁き) 胸一杯  
(P・N 糖衣錠)

◆ 鮎を見て はしゃいだ君が 懐かしい

◆ 鮎モナカ 二人で食べる 夏の夜(P・N M・ワタミツ)

◆ 若鮎に 恋焦がれては 瀬を上る  
(P・N paipai ibuchin)

◆ 涼む頃 こころ満ち行く 会いあゆし

◆ 暑いねと 君とふたりで 水をあむ(P・N ニョッキ)

◆ 織姫と 今宵密かに 鮎御前(P・N 銀河伝説)

◆ アユの様に 恋の縄張り してみたい(P・N 黒潮)

◆ 縄張りを してでも守る 貴女です(P・N アユ太郎)

◆ 友釣りの ようにちよっかい 出した恋

◆ あなたとは 同じ歩幅で 歩めそう(P・N おおもり)

◆ 門限へ まったり歩む 時となれ  
(P・N HIKARUくん)

◆ 潮の香に あなたの笑顔が よみがえる

◆ 時が過ぎ 今は我が子と ちあゆ釣り  
(P・N HIKARUくんのマミー)

◆ 空さえて 互いの星座 さがしあう(P・N かすみそう)

◆ 夏祭り そろいの浴衣 バチをふる(P・N すずらん)

◆ 夕焼けに あなたと鮎む 鯉の道

◆ 思い出す 初恋のころ 夏かしい(P・N ポンタロウ)

◆ 夏の夜に 空には花火 君模様(P・N 浪花の風来坊)

◆ この恋も 鮎と同じか ほろ苦し

◆ 縄張りに 若鮎侵入 ひっかかり(P・N 次男坊)

◆ 呼び捨てる アユの美称は 香魚なの

◆ 肩ごしの 歩む肌に 光る汗(P・N 源田 繁太郎)

◆ 婚活は 四の鮎の 生き次第(P・N のん)

◆ 墓参り 涙を見せず 目を閉じて(P・N 小林 番茶)

◆ 若鮎と 言われた彼も 落ち鮎に

◆ 夏の恋 うまく育てて 実もつける(P・N 無無)

◆ 夕立に 好きの言葉を 掻き消され(P・N 姫ちゃん)

◆ 失恋に 小鮎の初夏の ほろにがさ(P・N PON5)



◆ 川底の 飛びつくような 鮎恋いし (P・N 曲者)

◆ 歩み止め 一服の茶で 心潤す (P・N ぱぐ美)

◆ 藪蚊らの 御陰で台無し ふたりきり (P・N 演出家)

◆ つなぐ手の 汗だけは気に ならぬ夏  
(P・N 速乾ボーイ)

◆ 釣った鮎 捌いてくれる 我が女房

◆ 無理をせず 毎日一步 ずつ歩む  
(P・N クンタ・キンテ・ジャパン)

◆ 夏花火 見上げる君に 惚れ直す

◆ 夏花火 君の前では 色霞み (P・N 鬼小町)

◆ 夏が来た 今年こそはと 水着買う (P・N ぶよ)

◆ 花火より あなた見つめて 夏祭り (P・N ぶよまま)

◆ 敏感な 鮎釣りデート 目で合図 (P・N かよこ)

◆ カップルで 鮎の笹焼き おつなもの  
(P・N だじゃれまん)

◆ ふる里に あのマドンナと アユがいる

◆ 星の降る 川辺に群れる 鮎と恋 (P・N 高瀬舟)

◆ 退職後 ボランティアで 妻と歩む (P・N よつは)

◆ 薫風の 鮎香しき 一夜干し (P・N 木立慈雨)

◆ セ夕に 恋の願いを 託します

◆ 夏の恋 線香花火 はじけるよ (P・N 花月)

◆ 遡上鮎 恋の行方も 占って (P・N 恋する乙女)

◆ 人あゆみ 米寿と卒寿の 粋な仲 (P・N きゅぼらの風)

◆ 歩む道 重なる日が来る いつの日か  
(P・N 道のり遠し)

◆ 見せたくて 螢の居る場所 探してた

◆ 夏祭り 浴衣に花火 髪飾り (P・N guamkai)

◆ 釣竿が ムズムズしてて 鮎に恋

◆ 若鮎の 娘に男 群がって (P・N ぶちの白馬)

◆ 歩む道 馬鹿な二人で 良かったね

◆ 化かしあい 歩む二人は 狸かい (P・N 岩窟王)

◆ コンクリで 散歩ホタルと 鮎みへり

◆ 釣られてる 鮎もどきでも 恋釣ろう (P・N 小言悠三)

◆ 帰省して 誰かをさがす 盆踊り

◆ あの頃の 彼に会いたい 天の川 (P・N のぼら)

◆ 大好きな あなた目で追う 夏祭り

◆ 愛し子と 一緒に東風 (あゆ) と 戯れる  
(P・N まんまるパパ)

◆ この夏は 千里の道も 鮎の為 (P・N 大和の雨蛙)

◆ 携えた 手を離さずに 歩みゆく

◆ 清流で 恋を語るは 鮎の群れ (P・N 夢追い人)

◆ ゆっくりと 歩む老後の 恋の道

◆ 小中高 ゆっくり歩む 恋の道 (P・N 海峡ちどり)

◆ 鮎の住む 清流の如し 君の香り (P・N 上田文一)

◆ 夏の恋 花火見ながら 手を繋ぐ  
(P・N 働き蜂ちえちゃん)

◆ 小麦色 今じゃ死語かも 俺は、好き

◆ 猛暑ゆえ? とろける2人 発熱中♪ (P・N お酢)



- ◆ キスをして 君の気持ちと 同期する
- ◆ 笑うだけ 笑ったあとの 君がいい (P・N雄之介)
- ◆ たがえども 歩みし恋路 忘れ得ぬ (P・N尊の君)
- ◆ 携帯と 団扇で結ぶ 夏の恋
- ◆ 遠花火 遠くなるほど 愛しくて (P・Nすふいんくす)
- ◆ 彼の岸に 鮎見を誓う 天の川  
(P・N Mix Youth)
- ◆ 三十年 ともに歩いて とも白髪 (P・Nゆうな)
- ◆ 鮎を食う 夫婦清流 旅の宿 (P・N一本木)
- ◆ 花火より 君を見ていた 夏祭り
- ◆ 海月から 君を守った 土用波 (P・Nしげのり)
- ◆ 離れても 心がつなぐ 歩む糸 (P・Nれんこ)
- ◆ 日焼けした 水着のあとは 去った恋 (P・N氷川の杜)
- ◆ かがり火や 寄り添う影に 鮎跳ねて (P・Nちいじじ)
- ◆ 父と母 正座の君と 鮎もなか (P・Nかわちゃん)
- ◆ 退屈な あなたを見ない 夏休み
- ◆ 夏祭り あなたと歩む 初デート (P・Nひみこ)
- ◆ 浴衣着て 酌する妻に 惚れ直し (P・N角 奈緒也)
- ◆ 肩寄せて 川原を歩む 影がゆく (P・N木の影)
- ◆ 夏祭り 切れた鼻緒が 結ぶ恋 (P・N山野ことり)
- ◆ 河原は あなたと歩む アユの町
- ◆ 恋う人と 歩む浴衣に 遠花火 (P・Nやまちゃん)

- ◆ 鮎釣りで わが身釣られし 暑い夏
- ◆ 若鮎の 泳ぎ涼やか 君想う (P・N播磨男)
- ◆ 教会で 誓ったあの日 歩む道 (P・Nりちゃん)
- ◆ 夏の海 二人で浜に 寝そべって (P・N琥珀)
- ◆ 歩み止め 涼んでゆこう 『かわはら』で
- ◆ なんのその 君と一緒に 歩むなら (P・Nとんちゃん)
- ◆ 七夕に 彦星傘さし やってきた (P・Nだー)
- ◆ 食べたよね 一年前に 鮎料理  
(P・N恋歌 (れんか) ともや)
- ◆ 猛暑にも 負けぬ彼への 恋メール (P・N白猫)
- ◆ 夏の恋 一目ぼれして 波に消え (P・Nさちみ)
- ◆ 赤い実が 弾けて、あゆむ 二人道 (P・N百合紅葉)
- ◆ 間違えて 鮎が好きだと プロポーズ
- ◆ 餅じゃなく 焼くなら美味しい 鮎を焼け (P・Nよし得)
- ◆ 浴衣着た 釣ったさかかなに 鮎食わす
- ◆ 浴衣着た アユを河原に 誘い出す (P・N世の介)
- ◆ 塩焼きの 昔を偲ぶ 鮎の味 (P・N雪子)
- ◆ アユタヤに 今年の暑さ 負けてない (P・N老虫)
- ◆ 夏好きなの あなたのすべて 好きになる
- ◆ 一夏の 恋を楽しみ ゴールイン (P・Nクジラ)
- ◆ 夏の恋 去ってぽっかり ところ空き (P・Nはらっぱ)
- ◆ 清流に 泳ぐあゆ見て あの女(ひと)を (P・N畑耕作)



◆ 百点を 求めず歩み 三十年 (P・N 山ごぼう)

◆ せっかちと おっとり型で 歩んでる (P・N みずなす)

◆ あの日から 鮎子でデビュー しています

(P・N 京のみっちゃん)

◆ フーアユーー この一言が きっかけで

(P・N 船岡五郎)

◆ 鮎もなか 負けない甘さです ふたり

◆ あなたとの 恋は花火の ようでした

(P・N 岡山のみっちゃん)

◆ 若鮎は 君の喩えと 知るまいが

◆ 若鮎の 苦さの美味を 知る歳か (P・N かずちゃん)

◆ 潮騒に 好きだと叫ぶ 今年また

◆ ひと夏の 恋を重ねて 三十路へと (P・N 悠々愛々)

◆ 鮎のよな スタイリッシュな 君に夢中

◆ 鮎の骨 抜かれて恋も 骨抜かれ (P・N たかさま)

◆ 若鮎になって 飛び込む 彼の胸 (P・N かたおもい)

◆ 友釣りで 恋のオトリに された僕

◆ デートする 小柄な君に 歩を合わせ (P・N すみれ)

◆ 恋に似て あゆの塩焼き ほろ苦い

◆ 夏の恋 痛みを残した 日焼け跡 (P・N ふう)

◆ 歩み寄る 始めの一步 ドキドキ感 (P・N せんちゃん)

◆ ひと夏が 終わる恋にも 逢いもせず

◆ 熱き胸 波打ち際に 置いてゆく (P・N あーさま)

◆ 鮎跳ねる 流れのような 清き恋

◆ 手をつなぎ 歩む夫婦の 喜怒哀楽 (P・N 小田慶喜)

◆ 一歩ずつ 歩み家族の 歴史かな

◆ 鮎焼いて ビール片手の 川デート (P・N 小田和子)

◆ 夏の日の 火傷に痛む 身と心 (P・N リーちゃん)

◆ 肩の手を するりとかわす 若鮎ちゃん

◆ お互いの 指を編みつつ 歩む道 (P・N ほるへ)

◆ 向日葵が 見たた幼き 夏の恋 (P・N あいらむ)

◆ 畑借り 妻と野菜に 歩みより (P・N ほにゃらか)

◆ 大国に 肖ゆと打ち出の 小槌振る (P・N 三つ柏)

◆ ここは俺 おまえはあっち きゅうりの香

◆ 強い恋 やっと手にした 縄張りで (P・N もにかとなら)

◆ 君に似し 姿目で追う 初夏の街

(P・N チュン子すずめ)

◆ 小紫 偲ぶ面影 つゆの草 (P・N 長男ヒロタン)

◆ 夏来る あなたと歩む 河原町

◆ この一生 あなたと歩む いつまでも (P・N 雀の涙)

◆ プロポーズ 鮎も聞いている 恋の川

◆ 鮎はねる 恋する川原 飛ぶ二人 (P・N ヒデじい)

◆ こっそりと 恋を演出 夏の月

◆ 良く冷えた お茶を渡して 照れる指 (P・N 汐海 岬)

◆ 同じ道 君と歩んだ 夏の夜 (P・N 臨海和笑)

◆ 初恋の 君と纏れる 歩みかな (P・N 重信雅俊)

◆ 歩みたい 君と二人の 恋の路 (P・N 真田菜摘)



◆ 汗だくで 応援したよ 甲子園 (P・N真昼)

◆ 初恋は 籠目籠目の 遠い夏

◆ 焦れたい 恋へ弾けた 大花火 (P・Nほろ酔い)

◆ もう一步 大人の恋は 歩み寄り (P・Nふっきー)

◆ 彼よりも アユの塩焼き 恋しくて (P・Nター坊ママ)

◆ グランドに 若鮎跳ねる 炎天下

◆ 本命を 忘れ友釣り 相手変え (P・Nおじゃすか)

◆ 鮎の腸(わた) 乙女の知らぬ 恋の味

◆ 失恋を 重ねてうるかの 味を知る (P・N紫よん)

◆ 子の成長 鮎塩焼きへ 蓼酢かけ

◆ 箸使い 鮎塩焼きで 君試す (P・Nとれびの)

◆ 鮎苗(あゆなえ)へ アユノミクスを 皮算用

◆ 背越し鮎 CTスキャンの 鮮画像  
(P・Nアユノミクス)

◆ 肩と頬 触れて川面に 鮎探す

◆ 鮎跳ねて とたん絡む 細い腕  
(P・Nいしざわ こーど)

◆ 歩んでる 君と僕との 二人旅

◆ よちよちと 歩いて笑う 一歳児 (P・Nすんまそん)

◆ 体力を まず作りたい 夏の恋

◆ 炎天に 働く君に 恋をする (P・Nかきくけ子)

◆ 恋(鯉)育ち 鮎跳ね踊る 河原町 (P・Nヒメ父)

◆ LOVEの文字 背中に浮いた 日焼け跡 (P・N小夏)

◆ 二人から 共に鮎むは 三人に

◆ 荒波を 防ぐあなたは 防波堤 (P・Nみゃんくん)

◆ 肩ならべ おなじ人生(みち)を いざ歩まん  
(P・Nジョイン)

◆ 浴衣着て はしゃぐデートは いつの頃

◆ 淡い泡 ビールの苦さと 若い恋 (P・Nカエツクン)

◆ 弾む下駄 寄り添い歩む 夏まつり (P・N東葉)

◆ 河川敷 歩む歩幅が いつしか同じに (P・Nゆっけ)

◆ あなたって 鮎の気持ちは 分かるのね (P・N好日郎)

◆ 鮎燦々 味よし顔よし 姿よし (P・Nワンマン)

◆ 愛してる その一言に 溺れそう (P・Nぼっち)

◆ 日焼けした カレの笑顔に 片思い

◆ 初デート プールの誘い 少し引く (P・N薬寺村池丸)

◆ 歩もうよ 足の短い 僕だけど

◆ 鮎跳ねて あの子の笑顔 いつ戻る (P・Nれんじい)

◆ ただの道 あなたと歩む 天の川 (P・Nこりんご)

◆ 倦怠期 ココロの鮎を 飼い慣らす (P・N夏舟)

◆ この暑さ 四万十の“鮎” 顔見せず (P・N橘 舞衣)

### 【番外編】

◆ 授業中 鉛筆落として 気を引いた (P・Nとんとん)

◆ 逢いたいかわはらまでは 遠過ぎて  
(P・N大和の雨蛙)



◆ 遠い恋 夢の校舎で よみがえる (P・Nピノコ)

◆ あの頃の 逢瀬の時間 レモン味 (P・Nクン太のママ)

◆ 母の歩に 合わせて歩く 心地よさ

◆ 未来へと きっと続くよ その一步 (P・N清詩薫)

◆ 恋焦がれ 熱き語らい 紡ぐ声 (P・Nれんこ)

◆ 恋をして 恋の意味を 辞書で引く (P・N AG180)

◆ 避難先 恋する街に なりました

(P・N京のみっちゃん)

◆ アルバムの 顔かおカオが アイラブユー

(P・N翔のんまな)

◆ 近すぎて 離れて感じた この気持ち

(P・N名寄のやっさん)

◆ アルバムに 眠るデートの 香を偲ぶ

(P・Nかたおもい)

◆ 朝顔に 右へならへと 恋心 (P・Nせんちゃん)

◆ どのカレも 茶髪にピアス もういらぬ

(P・Nリーちゃん)

◆ 黄昏の 恋も華やぐ 河原浴い (P・Nあや)

◆ 忘れてる ようで忘れぬ 幼き恋 (P・N青虫)

◆ 胸痛い 病気じゃないよ 老恋よ (P・Nさわやん)

◆ 惚れられた 相手はこの世の 人ならず (P・N大熊猫)

◆ 恋川柳 出したが縁で 結ばれて (P・N臨海和笑)

◆ もう少し 歩けば好きと 言えるかも

(P・N花咲き夢子)

◆ 愛に恋(来い) 眠れぬ恋の物語 (P・Nみつかいかさ)

◆ キスをして 魔法をけして 忘れない (P・Nみきりん)

◆ 中華ラブ ラー油二粒 恋燃える (P・N阪神優勝)

◆ さあ夢の 続きをしよう キスしよう (P・N鼓吟)

### 【特別賞】

◆ 鮎料理 実は母親作だった (P・N岩美のおぼっちゃん)

《一言》鮎のうるかとか??それならバレバレだね♪

◆ 大プール 潜りキューした 遠い夏 (P・N矢車草)

《一言》女性スタッフの黄色い悲鳴が一斉に上がった!

◆ お揃いの ビーチサンダル 夏を駆け (P・N銀次郎)

《一言》常夏のビーチに負けない熱い疾走感が◎でした。

◆ 歩む幅 合わせてほしくて シャツつかむ (P・N夏梅)

《一言》この女心も分かるく!女性一同を唸らせた作品。

◆ 水着着て 鮎がナマズと ばれた夏 (P・N歌仙草)

《一言》鮎↓ナマズかあ:その化けっぷりにおしろ拍手。

◆ 「落ちないで」 線香花火 願かける (P・Nりちゃん)

《一言》この乙女らしい願掛けは何歳まで可能かしら:。

◆ 蒼い月 二人で歩む 畑の畦 (P・N瑠璃)

《一言》これぞ田舎ならではのロマンスですよね☆

◆ 告白を とまどう夏の 大三角 (P・Nあいらむ)

《一言》この後のドラマチックな展開に期待大!ですね。

◆ 年老いた 父の歩みに 寄り添って (P・N結花)

《一言》父の日に贈ってあげたい:そんな優しい一句。

◆ ロスタイム 線香花火 落ちるまで (P・Nたんご人)

《一言》どんなスポーツよりも緊張感漲る一瞬です!

※以上十名様には、秀句としてミニミニモアイをお贈りします。また、今回も優秀な作品が多く、惜しくも特別賞に届かなかった次の三名の方の作品も、プチ特別賞としま



# 道の駅の活動をちょこっとご紹介(^^)♪

## 古民家と地域住民との関わりに触れて楽しむ旅

7/14(日)



道の駅が主宰している「いなばスローツーリズム交流会」のメンバーと一緒に、道の駅のツアー企画としては初の「ワークショップ体験」つきツアーに行ってきました！ツアータイトル通り、見学だけで終わらない古民家巡りツアーということで、見学のほかに、民俗行事や歴史に触れたりギャラリーやイベントスペースとしても活用されている古民家でのものづくりを体験したりといったメニューも追加しました。

写真は、用瀬町屋住の長谷川邸でのワークショップの様子です♪麻紐を使ったランプシェードとモビール作りに挑戦したのですが、この日一番の盛り上がりを見せました。

-----  
-----  
by. KISAKI HIMEKO  
(郷土神話観光  
コーディネーター  
☆)

マスコットキャラ募集に地域同士の縁結びの学校づくり…等々と、今年は既存の「郷土神話観光」の企画枠を飛び越えて、様々な新分野で新たな企画の花が一気に開花した年になりました。(なぜか今年の事が既に過去形(笑)。)

これまでに生まれてきたものを温めながら、常に新境地を開拓していく…。行政と地域が丸丸となって郷土神話観光に取り組んでいる所ではない限り、やはり限界が見えてくる…道の駅がオープンして7年を迎える今、そんな現状にモヤモヤした思いを抱えながら、『温古新作』な企画作りに励んでいます!(^^)!

柳」編は九月に募集しますので、お見逃しなく☆

また、抽選の結果発表については、発送をもって代えさせていただきます。次回の【秋】「は梨(話)ふくらむ川」の付していないものについては、宛先のみご紹介させていただきます。

また、抽選の結果発表については、発送をもって代えさせていただきます。次回の【秋】「は梨(話)ふくらむ川」の付していないものについては、宛先のみご紹介させていただきます。

◆ 亡き妻は 夏の夜空に 輝きて (P. N 小林 番茶)

◆ 夏姿 デートの前は 鉄アレイ (P. N 見栄え)

◆ 飛び付いた 流れるプール よその彼 (P. N 真昼)

◆ 亡き妻は 夏の夜空に 輝きて (P. N 小林 番茶)

◆ 夏姿 デートの前は 鉄アレイ (P. N 見栄え)

◆ 飛び付いた 流れるプール よその彼 (P. N 真昼)

道の駅 清流茶屋かわはら  
地域の学び舎・水辺の学縁

【地域の学び舎・水辺の学縁】は、道の駅清流茶屋かわはらが進めている縁結びプロジェクトです。

**募集期間**  
6月1日(土)～  
9月30日(月) 必着

**賞金総額**  
11万円

地域と地域 & 人と人 縁結びプロジェクト  
「地域の学び舎・水辺の学縁」  
マスコットキャラクター  
デザイン募集

募集テーマ  
【地域の学び舎・水辺の学縁】が、教室やツアーを通じて地域の人材や観光資源の魅力を地域内外に発信し、より親しみやすい道の駅の交流の場となるよう、学縁のアイドルとして学縁の活動を一緒に盛り上げてくれるマスコットキャラクターと愛称を募集します。募集のマスコットキャラクターと愛称は、道の駅のホームページやウェブサイトなどの広告欄、グッズなどに採用します。

道の駅かわはらマスコットキャラクター募集  
TEL 0858-85-5331  
〒400-1213 高崎市河原町西5丁目37番地  
http://www.vakaito.com/

現在「地域の学び舎・水辺の学縁」プロジェクトがじわじわと進行中です。様々な教室やツアーを通じて、地域の人材や観光資源の魅力を地域内外に発信し、より親しみやすい道の駅の交流の場となるよう、学縁のアイドルとして活動を一緒に盛り上げてくれるマスコットキャラクターと愛称を募集します☑

- ～“地域の学校”を目指して～  
「水辺の学縁」プロジェクトでこんな事します♪
1. 主にもものづくりを学ぶ「ゆるゆる田舎塾」、「八上姫講座」
  2. 広い意味での社会見学が中心となっている「いなばスローツーリズム交流会」
  3. スポーツ教室のような屋外実習による「水辺プラザ青空教室」
  4. 野菜ソムリエを招き、地域の生産地を実際に訪ねて行う「収穫から行う田舎の料理学校」
  5. 地元の幼保園や小学校の子どもたちを道の駅に招いたり、教育現場に出向いて行ったりする食育指導士による「食育セミナー」

